

平成30年度（第85回） 東京都地区歯学研修会



平成31年1月26日（土），ホテルメトロポリタン エドモントにおいて東京都校友会平成31年新年賀詞交歓会開催前に「平成30年度（第85回）東京都地区歯学研修会」が校友会・歯学会・東京都校友会の主催で開催されました。

中原 泉 理事長・学長・校友会会頭，近藤勝洪校友会本部長，渡邊文彦歯学会会長（66回）のご出席を賜り，約100名の校友会員が参加し，田中克法都校友会副会長（72回）の司会により15時より開始されました。

初めに渡邊儀一郎都校友会会長（63回）より開会の辞があり，続いて，中原理事長，近藤会長，渡邊歯学会会長より来賓のご挨拶をいただきました。

今回の歯学研修会は「安全安心の医療を提供するために」というテーマで行われ，新妻喜一都校友会学術委員会委員長（72回）が司会進行を務めました。

講師として廣安一彦新潟病院口腔インプラント科

准教授（79回），柳下寿郎附属病院歯科放射線口腔病理診断科教授（78回）の2人の先生方をお迎えして，ご講演いただきました。

◆講演 1

「安心・安全の歯科医療を提供するために ーインプラント治療と口腔粘膜疾患ー」

廣安一彦准教授

歯科治療に欠かすことのできない分野にまで成長したインプラント治療における補綴系，歯周系，外科系，コミュニケーションの4つのリスクの中から，外科系の原因に含まれる安心・安全の医療を提供するために必要なインプラント治療と口腔粘膜疾患についての知識と対応についてご講演いただきました。

◆講演 2

「地域医療に携わる校友と大学病院との新たな連携 ー画像診断の補助・治療方針立案の支援で校友の 歯科医院に貢献するー」

柳下寿郎教授

現代の歯科医療の進歩と情報が氾濫する社会における集学的治療体制（自分自身の得意分野を活用し，不得意な分野を大学病院と連携して補っていくこと）の重要性と，実際に行われている X 線画像（パノラマ X 線画像を主体），および粘膜病変について，大学病院と同様にダブルチェック体制を提供する知識と対応についてご講演いただきました。

最後に伊藤直紀（66回）都校友会副会長の閉会の辞で終了しました。

（田外貴弘・80回記）

